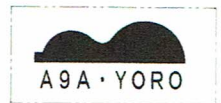


# PEACE GOURD



9条の会・養老  
会報、第29号  
2021年5月20日  
(部内資料)

”ピース・ガード” 「平和の瓢箪」

## 「『生活保護は権利です』…と厚労省も言うけれど…」

西濃憲法集会 2021 へ行ってきました。(写真は4ページ)

世話人 問山 尚義

先日、5月3日憲法記念日に、大垣市情報工房で西濃憲法集会が開かれました。「コロナ対策を万全に」と謳われており、人の流れを一例にして検温と消毒が実施されていました。人流の一例化は今後のイベントの在り方の参考になりました。

タイトルの『生活保護は権利です』は、このコロナ禍で最近厚労省のHPに(渋々?)アップされた文言ですが、生活保護行政の実態に照らしてその本音は?といった問題意識から企画されたものです。講演者の白井康彦氏は元中日新聞の記者で、岐阜支局に在籍されていたこともあり、その頃は古田知事に疎まれていたと語っておられました。うるさい記者だったんでしょう。

さて私の印象では、白井さんの論点は以下の2点だったように思います。

1、憲法25条もあり、関連法令にも致命的な欠陥はないのに、なぜかとも生活保護は叩かれるのか…? ⇒近年の与党サイドの政治家(ex.片山さつき氏)による生活保護バッシングキャンペーンが影響している。

2、「物価が下がったから生活保護費も下げるよ」という「マクロ経済スライド」なる毒が生活保護行政に持ち込まれた。従来 of 計算式ではない新しい式で物価指数を計算して、物価の下落幅が実際より大き目に偽装された。そんな姑息な手まで使って保護費を下げたいのか。

この「マクロ経済スライド」は違憲性ありと、全国で裁判が起こされ原告敗訴が多い中、4月の大阪地裁判決では珍しく勝った。

イギリスの作家J・K・ローリング氏は、夫との離婚後、収入が断たれた時に生活保護を受けながらカフェに通って「ハリーポッター」シリーズを書き始めたといひます。生活保護のハードルを下げて、「政府公認の貧困者」に墮する前の段階で利用できるように、法の運用を改めるのも一つの手かと思ひます。



海津市南濃町志津～徳田付近  
現在は環状道の高架工事が行われています。

♪ ♪ 戦後は続くよ どこまでも ♪ ♪